



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南 健治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 道嶋 仁

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	18,390	△34.7	△1,452	—	△1,585	—	△2,943	—
24年3月期第3四半期	28,163	△4.8	△929	—	△860	—	△1,401	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △2,923百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,489百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△59.56	—
24年3月期第3四半期	△28.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	47,106	14,023	29.8	283.82
24年3月期	52,943	16,947	32.0	342.99

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 14,023百万円 24年3月期 16,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では25年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△13.6	200	—	100	—	△1,200	—	△24.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	51,926,194 株	24年3月期	51,926,194 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	2,514,743 株	24年3月期	2,514,336 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	49,411,817 株	24年3月期3Q	49,413,697 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

(1)平成25年3月期の期末配当につきましては、当該期及び今後の業績を勘案して総合的に決定することとしており、予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示することといたします。

(2)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①業績全般について

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、欧州債務問題、世界経済の停滞、円高の継続、中国景気の減速など依然先行き不透明な状況が続いています。

液晶パネル業界はテレビ市場の低迷が続いており、大型パネル分野の新規設備投資は低調でした。また、スマートフォンやタブレット端末などモバイル機器の製品市場は好調であるものの、中小型パネルおよびタッチパネル分野の設備投資判断が遅れ気味となっています。

半導体分野は、微細化関連の設備投資はあったもののパソコン等の電子機器需要の低下による設備投資の先送りが見られました。

このような景況下、当社グループは受注活動を強化し、半導体や中小型液晶パネルでの顧客拡大を進めるとともに、新成長分野への展開を進めましたが、主要顧客の設備投資の抑制、計画変更などの影響により売上が減少しました。また、固定費削減および標準化・リードタイム短縮などのコスト構造改革と人員生産性の向上、経営体質の強化や事業構造の改善を進めました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は18,390百万円（前年同期比34.7%減）、営業損失は1,452百万円（前年同期は営業損失929百万円）、経常損失は1,585百万円（前年同期は経常損失860百万円）、四半期純損失は2,943百万円（前年同期は四半期純損失1,401百万円）となりました。

なお、四半期純損失には希望退職者の募集に伴う損失858百万円が含まれております。

②事業の種類別セグメントの業績について

(ファインメカトロニクス部門)

液晶パネル前工程では、大型パネル用装置の低調、中小型パネルおよびタッチパネル用装置の設備投資の決定遅れにより売上が減少しました。

半導体前工程では、微細化関連装置の投資はあったものの、主要顧客の設備投資の先送りにより売上が減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は11,762百万円（前年同期比31.4%減）、セグメント利益は268百万円（前年同期比41.5%減）となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

液晶モジュール工程では、大型パネル分野の設備投資の抑制を受け、主力のアウトリードボンダの売上が大きく減少しました。タッチパネル貼合装置は、主要顧客の設備投資決定の遅れにより売上が減少しました。

半導体組立工程は、用途拡大によるフリップチップボンダ、ダイボンダの拡販により売上が増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は3,956百万円（前年同期比53.2%減）、セグメント損失は1,692百万円（前年同期はセグメント損失1,433百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5,836百万円減少し47,106百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4,834百万円減少し33,645百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,001百万円減少し13,460百万円となりました。これは主に、リース資産の減少及び有形固定資産が減価償却等により減少したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,912百万円減少し33,082百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,924百万円減少し14,023百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

液晶パネル業界は、大型パネル分野の設備投資は引き続き低迷が見込まれます。一方、中小型パネルやタッチパネル分野では主要顧客の設備投資が実行され売上増加が見込まれます。

半導体分野は、微細化装置、マスク関連装置や新パッケージ分野での拡販、売上拡大を進めます。

当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあるものの、事業構造改革を加速し新分野比率を向上させ、受注、売上の確保に向けて取り組んでまいります。また、リードタイム短縮や固定費削減等によるコスト構造改革を行い、利益率向上を進めます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,067	3,977
受取手形及び売掛金	24,576	20,108
商品及び製品	2,294	2,811
仕掛品	4,376	5,490
原材料及び貯蔵品	192	179
繰延税金資産	977	556
未収入金	792	193
その他	275	376
貸倒引当金	△71	△46
流動資産合計	38,480	33,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,224	28,432
減価償却累計額	△17,275	△17,696
建物及び構築物(純額)	10,948	10,735
機械装置及び運搬具	1,658	1,926
減価償却累計額	△1,091	△1,341
機械装置及び運搬具(純額)	567	585
工具、器具及び備品	431	455
減価償却累計額	△354	△385
工具、器具及び備品(純額)	76	69
土地	119	119
リース資産	1,075	771
減価償却累計額	△703	△504
リース資産(純額)	371	266
建設仮勘定	586	287
有形固定資産合計	12,670	12,063
無形固定資産		
のれん	29	14
特許権	271	315
リース資産	60	29
その他	431	356
無形固定資産合計	793	715
投資その他の資産		
投資有価証券	199	203
長期前払費用	9	7
繰延税金資産	156	108
その他	635	364
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	998	681
固定資産合計	14,462	13,460
資産合計	52,943	47,106

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,931	7,242
短期借入金	9,775	11,019
1年内返済予定の長期借入金	500	—
リース債務	189	116
未払法人税等	181	38
未払費用	2,747	1,956
前受金	753	982
役員賞与引当金	—	15
受注損失引当金	137	57
資産除去債務	11	11
その他	615	444
流動負債合計	24,844	21,884
固定負債		
長期借入金	2,000	2,700
リース債務	264	198
長期未払金	21	21
退職給付引当金	5,365	4,726
役員退職慰労引当金	7	10
修繕引当金	436	451
資産除去債務	32	32
長期預り保証金	3,022	3,057
固定負債合計	11,151	11,198
負債合計	35,995	33,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,995	9,995
利益剰余金	1,933	△1,009
自己株式	△1,720	△1,720
株主資本合計	16,969	14,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	25
為替換算調整勘定	△46	△28
その他の包括利益累計額合計	△21	△2
純資産合計	16,947	14,023
負債純資産合計	52,943	47,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	28,163	18,390
売上原価	22,423	14,359
売上総利益	5,739	4,031
販売費及び一般管理費	6,669	5,483
営業損失(△)	△929	△1,452
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	3	4
為替差益	63	—
助成金収入	—	122
その他	204	55
営業外収益合計	279	190
営業外費用		
支払利息	141	127
為替差損	—	135
その他	69	60
営業外費用合計	211	323
経常損失(△)	△860	△1,585
特別損失		
事業構造改善費用	—	858
特別損失合計	—	858
税金等調整前四半期純損失(△)	△860	△2,443
法人税、住民税及び事業税	90	31
法人税等調整額	450	468
法人税等合計	541	499
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,401	△2,943
四半期純損失(△)	△1,401	△2,943

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,401	△2,943
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△25	0
為替換算調整勘定	△62	18
その他の包括利益合計	△88	19
四半期包括利益	△1,489	△2,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,489	△2,923

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	合計
売上高					
外部顧客への売上高	17,136	8,461	1,268	1,296	28,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	127	0	—	143
計	17,152	8,589	1,269	1,296	28,307
セグメント利益又はセグメント損失(△)	459	△1,433	△101	560	△515

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△515
全社費用(注)	△301
その他	△43
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△860

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	合計
売上高					
外部顧客への売上高	11,762	3,956	1,186	1,485	18,390
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	126	—	—	130
計	11,766	4,082	1,186	1,485	18,520
セグメント利益又はセグメント損失(△)	268	△1,692	5	328	△1,088

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,088
全社費用(注)	△265
その他	△231
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△1,585

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。